

聖路加国際大学 聖ルカ礼拝堂聖歌隊 総会議事録

2022 年 2 月 27 日（日） 午後 4 時から ZOOM

出席者：大竹惟司、大竹ひろ子、遠藤華玉、大西礼子、斉藤とも子、田代順子、
田島弘子、柳原由美子、内田恵美子、加藤祐美子、譚世佳、本多麻耶子、
今井俊博、内田研吾、大西信一、川津泰人、田邊國夫 （以上 17 名）

1. 開会のお祈り（大竹隊長）

2. 昨年度の聖歌隊活動について（企画・内田恵美子）

復活日礼拝録画奉唱：4 月 3 日（臨時チャペル）

逝去者記念礼拝奉唱：11 月 2 日（臨時チャペル）

降誕日前夕礼拝奉唱：12 月 24 日（アリスホール）

（その他の活動）

イースター礼拝録画終了後、ケビン先生の送別

1 月 29 日：メール報告による聖歌隊総会

1 月～7 月：毎月随時近況報告会（Zoom による）

8 月～11 月：毎月第 4 日曜日 晩祷（Zoom による）

昨年度の財務報告（決算書共有画面）：内田研吾、川津泰人

「会計監査より、本決算書はルールに基づき適正に作成され、

正確に財務状態を表していることを報告します」

決算報告は異議なく承認された。

今年度も隊費徴収はせずと決定。

3. 今年度の聖歌隊活動予定について（礼拝・大西）

2 月 27 日：聖歌隊 総会（ZOOM）

4 月 17 日：復活日礼拝（アリスホールで約 150 名、聖餐式）

：コロナウイルス感染拡大の場合はイースター前に録画

6 月 05 日：聖霊降臨日礼拝

11 月 02 日：逝去者記念礼拝

12月24日：降誕日前夕礼拝

(その他の活動・随時)

毎月第4日曜日午後4時からZoomによる晩祷他

4. 今年度運営委員等について（大西より報告）

昨年末に聖歌隊運営委員会を開催し、以下の人事を総会に提案することを決定した。

大竹惟司は隊長の任を退き名誉隊長となる。

大竹「2001年から皆さんのご協力のもと、長い間隊長を続けてきましたが、今年、隊長職を退きます。これからは聖歌隊の一員としてつとめていきたい。お花（胡蝶蘭）をいただきました。ありがとうございました。」

大西信一が隊長職を引き継ぎ、礼拝委員を兼任する。

内田研吾が隊長補佐となり、財務委員を兼任する。

企画委員は引き続き内田恵美子が務める。

会計監査は川津泰人が務める。

記録委員は廃止。

音楽委員を新設し、斉藤とも子をリーダーとして本多麻耶子、遠藤華玉が務める。

大西 「私は大竹名誉隊長のように、音楽的に優れた人間ではありません。

ピアノを弾くことはできませんし、合唱の中から音を聞きだすことも難しいと思っています。熱心さだけで合唱をリードするには無理があらうと思います。

そのため、斉藤さんをリーダーとした音楽委員を設定しました。

音楽委員の方々には聖歌隊の音を伴奏で、時には指揮者として、より正確で美しいものへとリードしていただくことを期待しています。」

以上の人事を満場一致で信任した。

5. 聖歌隊への提言、希望等（概要です）

本多：今まで記録委員をしていましたが、コロナ禍で記録をとることもなかったし、パソコンをやめてしまったので、皆さんへの報告書を書くこともできなくなり、記録委員をやめさせていただきました。

これから男性の高齢化もありますし、選曲が今までと同じようにはいかないのではないかと。なかなか難しいとは思いますが、皆さんのほうでこんな曲がいいのではないかとというのがありましたら、言って欲しい。

田邊：ずっとお休みをしていたので、礼拝を忘れてしまったのですが、合唱のほうは外部でやっています。最近困っているのは若干足が弱っているので、かりに夏の合宿をやろうとしても参加できるかどうか、分からないことです。それまでに足を鍛えて、何とか参加できるようにしたいと思っています。

遠藤：皆さんと一緒にいい歌を作れるようにがんばりたい。

田代：コロナ禍で活動ができない状況ですが、聖歌隊活動と同じく教育現場でも変則的な活動しかできていません。画面でばかり仕事をしているので、身体に変調をきたしてリハビリをうけながら仕事を続けています。

加藤：早く落ち着いて聖歌隊活動したい。仕事はリモートワーク、家で仕事しています。体力維持のため、ラジオ体操をしています。

柳原：こんなにコロナ禍が何年も続くとは思っていなかった。私たち聖歌隊はどんどん筋肉なんかが衰えていくので少しでも歌わないとダメだと思います。私は第2週と第4週の、み言葉の礼拝に参加して歌っています。とにかく声を出して歌うのはオンラインであれ、何であれやっていかなければと思っています。

今井：先月のオンライン晩祷からほとんど変わりはないです。

幸いにも、マーガレット教会で礼拝に参加し聖歌を歌うことができています。一人でも聖歌を歌って筋肉の衰えを解消しようと心がけています。

大竹：せめてひと月に1回でも、みんな集まって歌いたいなあとと思っています。
アンセムの2、3曲、聖歌5曲ぐらい練習して歌いたいです。
とにかく歌いたいです。

大竹（ひ）：病院で練習など歌うことはどうかと思っています。
月に1回のオンライン晩祷で歌えることは嬉しい。

斉藤：今年はチャペル委員として、チャペルと聖歌隊を繋げることを心掛けたい。
今、巷の合唱団では制限下で合唱をよくやっていると聞いています。
聖路加で私たちが声を出せるのかどうか、チャペル関係者に相談等して
いきたいと思います。

内田（え）：全員で歌いたいのですが、病院という場所のことや、行くまでの
交通のことなんか気になります。ズームで歌えないのでしょうか？

内田：礼拝が始まっていないので、とくに聖歌隊への提言はありません。
教区事務所でコロナに罹った人がでて、現実を身近に感じました。
聖歌隊も高齢者が多いので、心配しています。月に2回程度
み言葉の礼拝に参加しています。

川津：息子直之の住む稲毛へ引っ越しました。築地までの定期券も買いました。
体力的には引っ越しのせいか、あまり調子は良くはありません。
足腰が弱ってきたのは本当に悩みです。
運営委員会で「リクルート委員会」を別に作って新しい隊員を増やしたい。
これは聖歌隊活動が戻り始めないとできませんね。
皆さんも言っていますが、練習したいです。

大西（れ）：コロナにかんして個々人の警戒感に温度差がある現状で、集まって
練習することは難しいかなと思っています。Zoomで工夫してアンセム
などを歌えないかと思っています。

田島：マスクを二重にして感染症対策して、けっこう外にでかけています。
十分に食事をいただき健康管理しています。オンラインで様々な工夫で練習したい。あるいは病院で聖歌隊だけの管理下で練習できないものでしょうか？

大西：関名誉隊長が 30 数年、大竹隊長が 20 数年、聖路加聖歌隊を導いてくださったことにまず感謝したい。今回私が新しい隊長としての役目を引き継ぐわけですが、私は今までの隊長のように温厚な人間ではなく、熱しやすい性格です。皆さんにご迷惑をおかけするかもしれません。どうか力を貸してください。「今日の使徒書、コリントの信徒への手紙 1 の 12 章 4 節～7 節」のように聖歌隊をリードしたいと思っています。

聖路加聖歌隊は 4 年前に礼拝堂での奉仕活動を中止し、2 年前からコロナによって合唱活動を奪われました。実質、休止状態にあります。
この間、危惧されていた隊員の高齢化問題も顕在化し、混声合唱の困難さなどを意識しなければならない現状です。

このような難題をかかえる中、私の使命は「聖路加聖歌隊とその歌声を存続させていくこと」につきます。どういう形であれ、主を賛美するこの聖歌隊を守っていく所存です。神様の愛と導きが聖路加聖歌隊にありますように。

全員で主の祈りを唱えて総会を終了した。

記：大西